

# 書籍からの学び



## 怪獣人間の手懐け方 箕輪厚介

令和5年10月2日読了



寺前総合法律事務所  
弁護士・中小企業診断士 岡崎 教行

# 自己紹介

## 寺前総合法律事務所 弁護士・中小企業診断士 岡崎 教行

### 【学歴・職歴】

平成12年 3月 法政大学法学部卒業  
平成13年10月 司法試験第二次試験合格  
平成14年 3月 法政大学大学院卒業  
平成15年10月 弁護士登録（第一東京弁護士会）  
平成27年 1月 中小企業診断士試験合格  
平成29年10月 中小企業診断士登録（城西支部）  
平成31年 2月 寺前総合法律事務所（パート  
ナー）

### 【専門】

労働法務。取り扱う事件、相談の9割程度が労働問題。

### 【著書】

三訂版 使用者側弁護士からみた「標準 中小企業のモデル就業規則策  
定マニュアル」（日本法令・共著）  
社労士のためのわかりやすい補佐人制度の解説（労働新聞社）  
Q&Aとストーリーで学ぶコロナ恐慌後も生き残るための労働条件変更・  
人員整理の実務（日本法令・共著）  
就業規則からみるメンタル不調の予防と対応－規定整備のポイント－  
（新日本法規・共著）  
基本がわかる！人事労務管理のチェックリスト（労務行政）  
個人契約型社員制度と就業規則・契約書作成の実務（日本法令・共著）

### 【BLOG】

労働法務弁護士、がむしゃらに生きる365日  
<http://okazakinoriyuki.com/>



# プロローグ

人生は人との出会いで驚くほど変わる

# CHAPTER 1 生態編

怪獣人間とは何か

怪獣人間は思いつきをすぐ行動に移せる。今の世の中を今のルールを根底から疑う筋力がある。

怪獣人間は、「今の世の中はおかしなことばかりだ」と常にイライラしている。

怪獣人間とは、世界を前に進め、新しい景色を見せようとする存在。

怪獣人間の怪獣であるところは、予測不能。何をするかわからない。その怖さに多くの人にはビビってしまう。

# CHAPTER 2 獲得目的編

怪獣人間と付き合うメリット

# CHAPTER 3 発見編

怪獣人間はどこにいる？

話題の人の横にすることが最も重要。

当たり前前の行動からは、当たり前前の結果しか得られない。

失敗してもいい。相手にされなくてもいい。とにかく当たってみる。

「本を書く気がない」と断られたら、なんで書く気がないかを考える。

断られることはプロセスであり、その人との関係性が始まったとポジティブに捉えられれば、何も怖くない。

怪獣人間が一番嫌いなのが、「時間を奪われること」

社内での連絡も、複数人に一斉メールをしたり、グループラインに送っているのに、個別で返事をしてくる人が必ずいる。

こちらの意図を考えてほしい。そのやり取りをみんなで共有するためにグループに投げている。

# CHAPTER 4 接触編

困った時に、真っ先に思い出してくれる存在を目指すことが一番。大切なのは、相手がどのようなコミュニケーションを求めている人なのかを調べ、考え尽くすこと。

お願いをするときに自分のメリットばかり考える人がいるが、問題外。相手の人生にとってどれだけプラスになるか、それを考え、話す。相手のことを想像し尽くして、あらゆる準備をして接触しなければならない。

初対面が相手にとっていい時間になるように、相手のことを考え、小手先ではない分厚さで相手にとって意味のある提案をする。

怪獣人間との出会いは初対面が9割、その狭き門を突破した者だけが修羅の道へと進むことができる。

# CHAPTER 5 捕獲編

怪獣人間と渡り合うための掟

仁義なんてもう古いと軽視する人は多い。だが、怪獣人間にはそれは通用しない。なぜなら彼らはお金よりも信用という通貨で生きているから。見城さんがいうGNOとは、義理・人情・恩返し。これが人間関係の根幹。本の感想などは本人に直接ではなくて、Twitterで言うようにしています。Twitterであの本、面白かったですとか、番組のこの発言、最高でしたと返した方が喜ばれる。その方が宣伝にもなるし、返す側の負担も少ないから。結果を出すためには、絶対に結果を焦らない。

怪獣人間はわがままなのに繊細で、大胆なのに小心者だ。その複雑な性格が何かのタイミングでねじれ、人に対して疑心暗鬼になる。こいつに頼めばなんとかかすると思われることが重要。



# CHAPTER 6 手懐け編

人間関係の三角形

どんなものでも捉え方次第で逆にいいのだ。

人間が人のことを信頼するときは、自分以上に自分のことをわかっていると感じた時だ。

世の中の仕事は基本的に全部、人間を知ること

その力を養うためには、この時何を考えていたんだろうと相手の気持ちを想像してみることに

想像力を働かせることは正解を当てることではなく、人間への興味をより深めること。怪獣人間と付き合い仕事をするには、相手の奥底を人間が何たるかをひたすら想像する姿勢が欠かせない。

利用させてもらうけれど、お互いメリットがある状態にする。

困った時に顔が浮かぶ存在でなければ怪獣人間とは付き合えない。

# CHAPTER 6 手懐け編

人間関係の三角形

忙しい怪獣人間に、お前のためなら、人肌脱ごうと思ってもらえるかどうか。

なぜブラック企業で働くと心身を壊すのか。

仕事がきついからではない、他者にコントロールされるから。

# CHAPTER 7 人間対策編

プチ怪獣との付き合い方

社内政治とは一言で言えば、関係者の利害の一致。これは社内に限らず、あらゆる仕事においての原則。いかに関係者の利害を一致させるか。

不機嫌に仕事をするのはそもそもダメな人。

できる仕事人はいつも機嫌がいい。

# CHAPTER 8 怪獣人間凶鑑編

怪獣人間はあまりにも魅力的だ

# エピローグ

人間の歪さを面白がれると人生は面白くなる